

南稜中学校のESD活動

<活動の概要>

- 本校は、ESD活動として環境に関わる活動と人と関わり、思いをつなぐ活動を中心に行っていた。2018年度より始まった地域貢献ボランティアでは、生徒会の中に「地域ボランティアセンター」を設立し、生徒たちの手で活動の募集・吟味などを行っている。また、2019年度より、地域のボランティア団体「梅田川フォーラム」の事業を引き継ぎ、環境・保全活動に本格的に取り組み始めた。更に2020年度より、梅田川を教材とし、中学校3年間を見通した総合的な学習の時間年間指導計画やESDカレンダーの作成、大崎小学校との小中連携を行うことで、教科と領域、授業と行事、小学校と中学校のつながりを意識したESD活動を行っている。

・活動の実際

地域貢献ボランティア

2018年度より地域連携・地域協働活動として、「中学生地域貢献ボランティア」を展開している。校区やその他の地域から受けた依頼に対して、中学生を派遣し、校区のお祭りの会場設営や運営、吹奏楽の出前演奏などを行っている。2020年度からは、校区からの要請に加え、校内の草取りやミナクルでの学習会など、中学生発信のボランティア活動にも積極的に取り組み始めた。校区からの期待も大きく、この活動の意義を改めて再確認している。



総合的な学習の時間での福祉・環境学習

1年生は「誰もが暮らしやすい社会をつくろうーくすのき特別支援学校との交流を通してー」とし、立場の違いによる困り感に気づき、誰もが暮らしやすい工夫について考える。2年生では、「梅田川を未来へつなぐー梅田川ぴかぴかプロジェクトー」とし、梅田川の水質汚染・海洋ゴミ問題に気づくとともに、解決に向けて方法を探る。3年生では、「持続可能な社会をみざしてーSDGsの達成のために私たちにできることー」とし、これまでの学びをもとに視野を世界へと広げていく。SDGs達成に向け、自分たちにできることを考え、動き出す。活動の様子から、生徒たちが主体的に学ぶ姿が見られ、持続可能な社会の実現について一人一人が考えをもてるようになってきた。



梅田川フォーラム

地域ボランティア団体「梅田川フォーラム」の事業を引き継ぎ、全校をあげて梅田川および地域の公共施設の美化活動を行っている。回収されたゴミの量に驚くとともに、この状況を何とかしたいという思いが生徒に生まれた。今後も継続して活動し発信することで、地域美化に校区全体で取り組んでいく。また、これまで行われてきた水質調査を継続して行い、水の汚れやそこにすむ生物についても観察を続けていく。

